

地域を明るく！犯罪防止！

防犯への取り組み

マチを明るく照らす防犯灯、犯罪を防ぐ防犯カメラ。これらはどのように運用されているか知っていますか？防犯灯や防犯カメラの設置・維持に係る費用は、皆さんからの町会費と、大阪市の補助金で賄われています。各地域の防犯活動（青パトなど）は、安全で安心な西区のマチを守るために、夜間の見回りを行うなど皆で協力して取り組まれています。

【防犯灯・防犯カメラの設置・維持】

<防犯についての話し合い>

あそここの道、暗くて怖いという声を聞いたよ。
この前ひったくりがあったよね。

設置検討



設置
維持・管理

防犯灯・防犯カメラの維持・管理は
町会費を利用して行います!!



町会

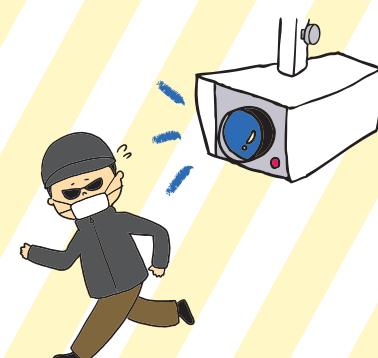
明るく安全なマチは地域の
皆さんで守られています!!

防犯灯・防犯カメラの設置場所は、地活協・連合振興町会の運営会議を通して意見集約・調整して、設置の申請を行っています。防犯カメラの映像は適切に警察へ提供され、犯罪解決や不法投棄の抑止に役立っています。

※毎年数に限りがあるため順番に取り付けています。



地域では、地域の安全を守る活動を自主的に行なっています。
皆さんも、お住まいの町会活動などとの繋がりを持って、
安全で安心な西区のマチと一緒につくりましょう！



災害の時こそ、マチのつながり！

防災への取り組み

西区内14地域では毎年防災訓練を通して地域の防災力を高めています。

災害時は指定された校区内の小中学校などに避難所を開設します。

皆さん、避難所の運営は誰が行うのか知っていますか？訓練も実際の避難所運営も自主防災組織が行います。自主防災組織は防災リーダーや地域の町会をはじめとしたコミュニティで担っています。



【自主防災組織のしくみ】

連携・報告

災害対策本部
[区役所]

町会を通して地域の方が
お手伝いをしています!!

連携・報告

避難所運営委員会
*[災害時避難所]

災害時に区役所との連絡体制や、
行政機関からの食糧・救援物資が
配布される場所は、指定された
災害時避難所となります。



避難所では多くの方の協力と
お手伝いが必要となります。

自主防災組織は地域の方を中心に役割分担し、避難所を運営します。避難所では名簿を作成し、避難者の数を区に報告して支援物資を受け取ります。あらかじめ町会に加入しておくと、人数把握を迅速に行うことが出来ます。



日頃からの地域内での繋がりは災害時の相互協力をスムーズにします。
お住まいの町会へ加入して、地域との繋がりを持ちましょう！！